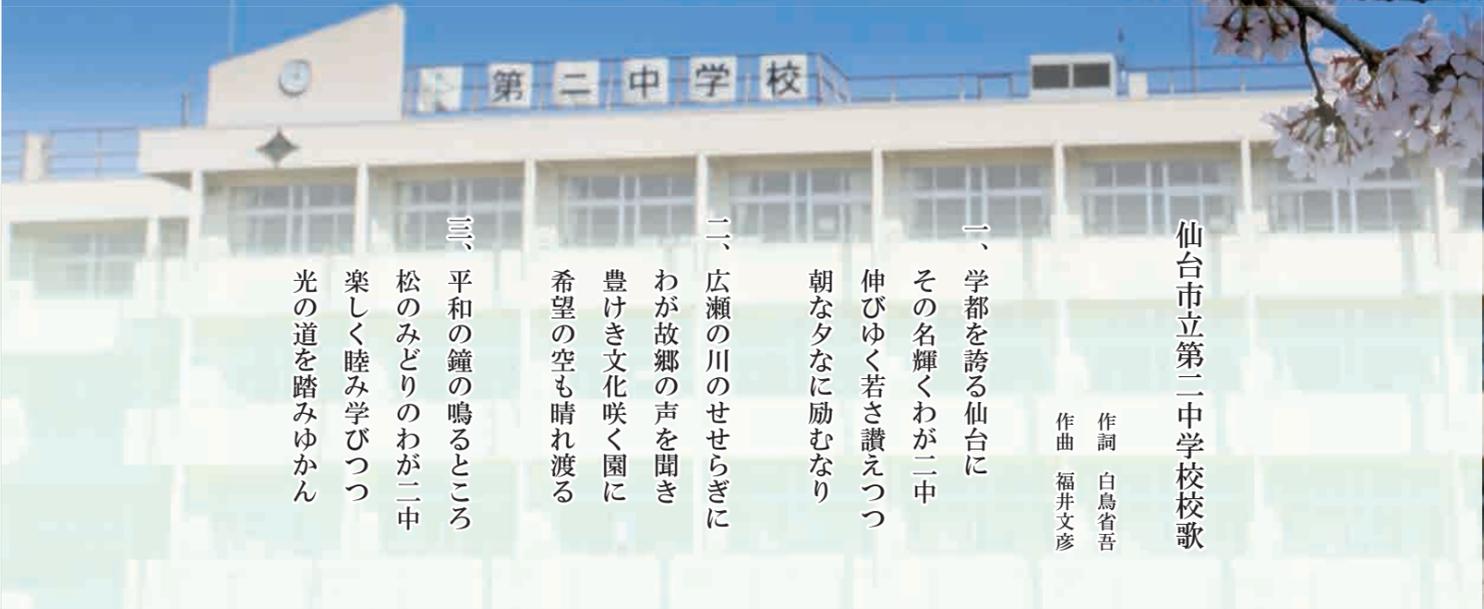


令和6年度

学校要覧



仙台市立第二中学校校歌

作詞 白鳥省吾
作曲 福井文彦

一、学都を誇る仙台に
その名輝くわが二中
伸びゆく若さ讃えつつ
朝な夕なに励むなり

二、広瀬の川のせせらぎに
わが故郷の声を聞き
豊けき文化咲く園に
希望の空も晴れ渡る

三、平和の鐘の鳴るところ
松のみどりのわが二中
楽しく睦み学びつつ
光の道を踏みゆかん

仙台市立第二中学校

〒980-0801

仙台市青葉区木町通2丁目4番1号

電話022-234-6101 Fax 022-301-9646

URL: <http://www.sendai-c.ed.jp/~nityu>

E-mail: nityu@sendai-c.ed.jp

東北大学病院分校

〒980-0872

仙台市青葉区星陵町1番1号

電話022-301-5015 Fax 022-301-5015

URL: <http://www.sendai-c.ed.jp/~nityu>

*校地内には二中の校木である「松」がたくさん植えられています。



校章の松



飛竜の松



松友の松

沿革

- 昭和22 4 18 開校
- 昭和22 5 24 仙台二中会（二中PTA）結成
- 昭和23 3 12 校舎落成
- 昭和23 4 30 松友会（二中学生会）創立
- 昭和26 2 20 校歌制定（作詞：白鳥省吾・作曲：福井文彦）
- 昭和26 3 12 校旗制定
- 昭和35 6 1 NHK学校放送教育委嘱校となる
- 昭和39 10 18 第12回放送教育研究全国大会会場となる
- 昭和41 11 4 産業教育研究指定校研究公開
- 昭和44 4 1 国旗掲揚塔施設
- 昭和47 10 28 仙台二中創立25周年記念式典挙行
- 昭和48 10 17 視聴覚教育合同全国大会会場
- 昭和51 10 7 社会科全国大会仙台大会会場校
- 昭和52 10 28 仙台二中創立30周年記念式典挙行
- 昭和52 11 25 学校環境緑化の功績をもって仙台市より表彰される
- 平成 8 10 18 仙台二中創立50周年、校木「松」記念植樹
- 平成 9 4 1 東北大学医学部院内学級開設
- 平成11 10 18 環境美化教育実践優良校清掃奉仕部門で全国表彰を受ける
- 平成16 10 18 校木記念碑除幕式（校章の松、松友の松）
- 平成17 4 1 東北大学病院分校開校
- 平成19 8 25 北五高等学校90周年・仙台二中創立60周年記念式典挙行
- 平成20 5 18 「仙台青葉まつり」へ100名の生徒が初参加
- 平成20 8 26 仙台市道路愛護功労者表彰
- 平成21 4 1 仙台市より学校支援地域本部設置校に指定される
- 平成23 3 11 東日本大震災発生。避難所として約250名を収容する
- 平成24 3 23 災害復旧改修工事完全終了
- 平成25 4 1 宮城教育大学教職大学院キャリア育成オフィス事業連携協力校に指定される
- 平成26 6 28 二中学区指定避難所別合同防災訓練実施
- 平成27 1 太陽光パネル設置
- 平成27 7 24 二中オープンスクールを実施
- 平成28 1 体育館トイレ改修・ひろびろトイレ設置・洗面所設置
- 平成29 9 2 北五高等学校100周年・仙台二中創立70周年記念式典挙行
- 平成30 8 29 ストップ・ザ・いじめ キックオフイベント開催
- 9 28 台湾の南投縣立宏仁國民中學との交流学习開催
- 平成31 3 8 校庭整備完了式を実施
- 令和 2 2 13 普通教室エアコン設置工事完了
- 令和 2 9 5 新型コロナウイルス感染拡大防止のため学習発表会・二中会まつり中止
- 令和 3 1 15 GIGAスクール構想 1人1台タブレット端末配備
- 令和 3 4 1 仙台市教育委員会「いじめ・不登校対策推進協力校」指定
- 令和 4 4 1 宮城教育大学「学校教育創造・研修校」指定
- 令和 5 2 1 仙台二中・学校運営協議会設立

生徒数及び学級数

(令和6年4月1日現在)

本校

学年	1学年	2学年	3学年	特別支援	合計
生徒数	92	106	89	11	298
学級数	3	4	3	3	13

東北大学病院分校

学年	1学年	2学年	3学年
学級数	1		

部活動

【運動部】

野球部 バスケットボール部 剣道部
陸上競技部 バドミントン部 水泳部
ソフトテニス部(女) 卓球部

【文化部】

吹奏楽部
文化芸術部 美術班
写真班

学区概要

- 仙台市の北西寄りの市街地が主で、南西に広瀬の清流を隔てて川内旧青葉城本丸、亀岡の丘陵地を望む。
- 昭和20年7月10日の戦災によって、学区の7割が焼失し、商店街が東方に移動するに及び、商店街に金融機関、諸会社、マンションの進出が目立つ。
- 概括的にこの地区を分けると、旧北一番丁以北の住宅街、旧北一番丁以南大町までと西部の商店街、亀岡川内の学区周辺住宅街、学校、文化施設の三区に分けられる。
- 県庁・市役所、県市両教委に約10分、行政機関のもっとも近い位置にあり、東京エレクトロンホール宮城、市民会館、大学病院、美術館、メディアテーク、国際センターなど文化的施設が多い。
- 学区内には、東北大学や宮城教育大学、仙台二高、尚絅学院高や各種専門学校などがあり、学校環境にも恵まれた地域である。
- 平成23年3月11日に東日本大震災が発生した後、連合町内会の避難所運営マニュアルの見直しが行われた。現在、本校と木町通小学校が、木町通学区の指定避難所に指定されており、木町通市民センターが補助避難所に指定されている。



第77回入学式



対面式



修学旅行(3年)



野外活動(2年)



校外学習(1年)



松友会総会(オンライン)



市中総体激励会

令和6年度 学校教育目標 支え合い 高め合い たくましく 未来を切り開く 生徒の育成

目指す学校像

挨拶と歌声が
こだまする学校

活力と節度の
ある学校

地域と共に
歩む学校

安全で心の居場所
となる学校

目指す生徒像・教師像

支え合い
友愛

豊かな心を持ち、
支え合う生徒

高め合い
向上

進んで学び、
高め合う生徒

たくましく
健康

心と体を鍛え、最後
までやり抜く生徒

未来を切り開く
創造

未来に向かって
自ら行動する生徒

生徒像

一人一人を大切に、
共に歩む教師

互いに協働し、指導力を
磨き合う教師

心身共に健康で、
信頼される教師

主体性を導き出し、
可能性を信じる教師

教師像

豊かな心

確かな学力

健やかな体

生きる力

重点目標 (重点的に育成を目指す生徒の資質・能力)

- (1) 【支え合う力】の育成 (思考力判断力表現力等の育成) 「意識的に自らの心を耕し互いに支え合っていくとする資質・能力」を育成する。
- (2) 【高め合う力】の育成 (知識技能の習得) 「進んで学び互いの良さを認め高め合っていくとする資質・能力」を育成する。
- (3) 【やり抜く力】の育成 (学びに向かう力・人間性等の涵養) 「失敗しても、それをバネにし最後までやり抜こうとする資質・能力」を育成する。
- (4) 【自ら行動する力】の育成 (学びに向かう力・人間性等の涵養) 「主体的に考え未来に向かって自ら行動しようとする資質・能力」を育成する。

協働型学校評価の到達目標

学校・家庭・地域で、心のこもった挨拶をする生徒の育成

協働型学校評価の重点目標

学校・家庭・地域で、心のこもった挨拶ができる生徒を80%以上にする

目指す生徒の具体的な姿

<学校>

友達、先生、来校された方へ、
心をこめて元気に挨拶する生徒

<家庭>

家庭での一日の挨拶が
習慣化されている生徒

<地域>

近所や知り合いの方へ、
心のこもった挨拶をする生徒

重点目標実現のための三者の改善活動

<学校>

- 教職員が範を示し、生徒に心をこめて明るく挨拶する。
- 生徒の挨拶の励行を学級や集会の場で認める。
- 松友会が中心となり、挨拶運動や励行の呼び掛けを行う。

<家庭>

- 「おはよう」から「おやすみ」まで一日の挨拶を自然と交わし、習慣化する。
- 意識的に「ありがとう」の言葉掛けをする。

<地域>

- 地域行事等で、子供たちに積極的に関わり、挨拶や声掛けをする。
- 近隣の顔見知りの子供たちに挨拶や声掛けをする。
- 小学生に挨拶をする。



地域合同防災訓練



学習発表会



校内球技大会



校内合唱コンクール



あいさつ運動
「あいさつ」ありがとう運動



3年生を送る会



第77回卒業式